

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー
所管事務調査説明資料

目 次

第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1	名称、設立年月日、所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員及び評議員名簿	3

第2章 令和6年度決算状況

1	事業報告	4
2	貸借対照表	11
3	正味財産増減計算書	12
4	財務諸表に対する注記	16
5	附属明細書	17
6	財産目録	18
7	収支計算書	19
8	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	19
9	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	19

第3章 令和7年度事業計画

1	事業計画	20
2	収支予算書	24

令和7年8月18日

経済観光文化局

第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名称 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
- (2) 設立年月日 昭和62年 9月 1日
 - ※昭和22年11月 福岡市観光協会設立
 - 昭和40年12月 (社) 福岡市観光協会 (法人化)
 - 昭和62年 9月 (財) 福岡コンベンションビューロー設立
 - 平成 6年 4月 (社) 福岡市観光協会と (財) 福岡コンベンションビューロー合併
 - (財) 福岡観光コンベンションビューローへ名称変更
 - 平成24年 4月 公益財団法人に移行
- (3) 所在地 福岡市中央区大名二丁目5番31号

2 設立目的

福岡市及び周辺地域との緊密な連携のもとに、観光客の誘致、コンベンション（国際・国内の各種会議、展示会等をいう。）の誘致等を行うことにより、福岡市における観光及びコンベンションの振興を図り、もって国際、国内観光の振興による人的交流の促進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

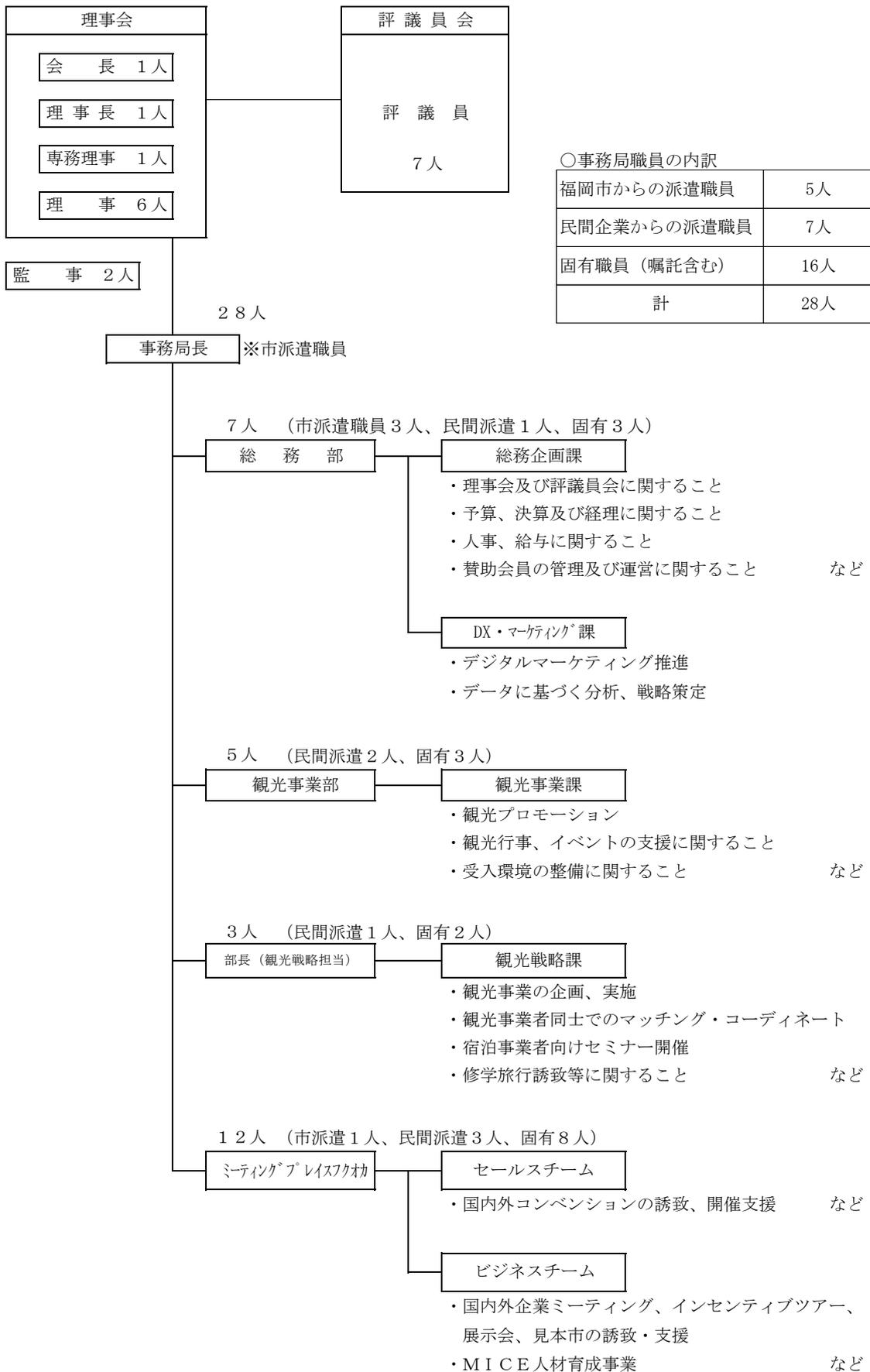
3 事業内容

- (1) 観光客の誘致及び受入
- (2) コンベンションの誘致及び主催者に対する支援
- (3) 観光・コンベンション都市福岡の広報及び宣伝
- (4) 観光及びコンベンションの調査、企画及び開発
- (5) 観光及びコンベンションに関する情報の収集及び提供
- (6) 福岡市からの委託による受託事業の管理運営
- (7) 旅行業法に基づく旅行業
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 基本財産

796,000千円（福岡市 755,000千円 94.8%）

5 組織及び役職員数（令和7年度） ※8月1日現在



○事務局職員の内訳

福岡市からの派遣職員	5人
民間企業からの派遣職員	7人
固有職員（嘱託含む）	16人
計	28人

6 役員及び評議員名簿（令和7年8月1日現在）

○役員

役職名	氏名	就任年月日	備考
会長 (代表理事)	谷川 浩道	令和7年6月25日	福岡商工会議所 会頭
理事長 (代表理事)	松本 義人	令和7年4月1日	西日本鉄道株式会社 代表取締役副社長執行役員
専務理事 (業務執行理事)	竹中 良孝	令和7年4月1日	(常勤)
理事	安川 仁	令和6年6月27日	株式会社九電工 上席執行役員
理事	豊福 辰也	令和7年6月25日	福岡市ホテル旅館協会 会長
理事	御手洗 淳	令和7年6月25日	西部ガスホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
理事	篠崎 和敏	令和7年6月25日	一般社団法人日本旅行業協会 九州支部 支部長
理事	吉田 宏幸	令和7年7月30日	福岡市 経済観光文化局長
理事	石橋 正信	令和7年4月1日	一般財団法人福岡コンベンションセンター 理事長
監事	下田 康介	令和7年4月1日	株式会社西日本シティ銀行 地域振興本部副本部長
監事	大島 輝久	令和6年4月1日	株式会社福岡銀行 地域共創部長

○評議員

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	落石 俊則	令和7年6月25日	福岡市議会 経済振興委員会 委員長
評議員	松本 恭子	令和6年6月27日	福岡商工会議所 専務理事
評議員	千 相 哲	令和6年6月27日	九州産業大学 副学長/地域共創学部教授(観光学)
評議員	江口 洋之	令和6年6月27日	九州電力株式会社 執行役員 福岡支店長
評議員	中村 英一	令和6年6月27日	福岡市 副市長
評議員	山根 久資	令和6年6月27日	九州旅客鉄道株式会社 常務執行役員 総務部長 人事部担当
評議員	里浦 徹	令和6年6月27日	一般社団法人九州観光機構 事業本部長

第2章 令和6年度決算状況

1 事業報告

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー（以下「財団」という。）は観光庁による「観光地域づくり法人（DMO）」への登録申請を行い、令和6年度はその活動初年度として、持続可能な観光・MICEの実現に向け、地域の人々の理解を深めるためのフォーラム開催や参画の場づくり、また地域のさらなる活性化に向け、事業者の連携促進やデジタルマーケティングの推進など、当財団を旗振り役とする観光地域づくりへの取組みを進めた。

観光振興においては、福岡の豊かな文化、歴史などの地域資源の活用を図るとともに、「まち歩き」の担い手づくりに取り組んだ。

また、人手不足、生産性の向上など観光課題へ対応するとともに、福岡型ワーケーションや修学旅行による周遊観光を推進することで、域内での回遊や消費の促進を図った。

また、MICEについては、MICE開催地として選ばれるため、都市の魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援、欧米市場の獲得を視野に入れたセールスを行った。

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive tour/ Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、関係団体等と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

① 地域資源を活かした観光振興

ア 観光コンテンツの企画・販売

- ・福岡城での観光コンテンツの販売〔販売枚数 御城印：11,907枚、古地図：89枚〕

イ 福岡市観光案内ボランティアの運営〔登録数：57名〕

- ・「定時ツアー」、まち歩きコースの企画・実施、及びガイド派遣依頼への対応

ウ 観光ボランティアガイドの体制強化

- ・おもてなしサポーターの新設〔登録数：117名〕

エ 観光情報の発信

- ・観光情報サイト「よかなび」及び海外向けの観光情報サイト（観光グローバルサイト）の運用

② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」・「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行った。

③ 福岡検定の実施〔受検者数：733名、合格者数486名〕

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施した。

④ 受入環境の向上

国内外からの来訪者の増加に対応し、来訪者が快適に過ごすことができるよう、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 観光案内所の管理・運営〔利用人数：433,116人〕

イ クルーズセンターでの受入時の観光案内

ウ 観光ガイドブック等の配布

(2) 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進した。

① 観光関連産業の連携強化

持続可能な観光を推進するため、観光関連事業者等と連携し、新たなビジネス機会の創出や観光産業の活性化等に取り組んだ。

ア 観光関連事業者等の活性化に資するイベントの実施

・販路開拓や観光コンテンツ造成に向けたビジネスマッチング〔全16回、延べ64社〕

・テーマを設定したマッチング交流会〔3回、来場者数194名〕

イ 宿泊事業者の人材確保のための就職合同説明会や研修等の実施

・次世代リーダー育成のための研修・交流プログラム〔全13回、参加者数：18名〕

・宿泊業界合同就職説明会〔出展事業者：25社、来場者数：205名〕

・宿泊業経営者等へのセミナーの開催〔参加者数：31名〕

・大学での就職説明会等の開催〔実施校数：4校、実施回数：7回〕

② 広域連携誘客事業

ア 国内向けプロモーション

「ツーリズムEXPOジャパン2024」への出展

イ 海外向けプロモーション

「旅行博ITF（台湾）」及び「旅行博ITF（タイ）」への出展

③ 修学旅行による都市圏周遊の推進

都市圏を含む周遊観光を推進し、市内に宿泊する修学旅行への支援を行った。

ア 修学旅行に係る交通費（貸切バス）の支援〔利用実績：316校、698台〕

イ 修学旅行・校外学習における「体験学習プログラム」への参加費支援

〔利用実績：185校、13,262人〕

ウ 修学旅行専用サイト等による情報発信

エ モニターツアーの実施

④ 福岡型ワーケーション推進事業

ワーケーションに興味・関心を持つ企業をターゲットとした新たなプログラムの開発や、長期滞在を支援する特典の提供、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 企業向けワーケーションプログラムの開発〔4コンテンツ〕

イ ワーケーション専用サイトの運営

ウ ワーケーションの受入れを支援するパートナー企業交流会の実施

〔2回、来場者数：18社27名（第1回）、18社23名（第2回）〕

エ 国際的なりもつワーカー（デジタルノマド）滞在支援コーディネーターの配置

オ 国際的なりもつワーカー向けサービス（クーポン）利用促進とニーズ調査

(3) MICEの誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまで、ワンストップで実施した。

都市の知名度向上につながるコンベンション、経済波及効果が高い企業主催のミーティングやインセンティブツアー、ビジネス機会の創出につながる展示会・見本市の誘致活動を展開したほか、ユニークベニューの開拓、活用に取り組んだ。

※ユニークベニューとは、博物館や歴史的建造物などで、レセプション（式典等）を開催することで特別感や地域特性を演出できる場所。

① MICEの誘致等

ア コンベンションの誘致〔誘致件数 国際：92件、国内：140件〕

国内外の商談会への参加など積極的な誘致活動を行い、外国人参加者が多い国際会議や大規模な医学系学会の開催が決定した。

イ ミーティング・インセンティブツアーの誘致〔誘致人数：14,066人〕

MPF主催の招聘事業などに参加したMICE主催者への継続した営業や、欧米系の企業や学協会事務局の支社・支局を多数有するシンガポールにおいて、市場開拓に向けたMICEセミナー及び現地での営業を実施した。

ウ 展示会・見本市の誘致〔商談会参加：3件〕

展示会・見本市主催者が参加する主要な商談会への参加や、地元業界団体・企業等とのビジネスマッチングを行うなど、新規分野の展示会・見本市の誘致に取り組んだ。

② MICE開催支援

ア コンベンション開催支援

国内の大型会議・大会や、外国人が多く参加する国際会議開催に対して、費用の助成を行った。〔国内：26件、国際20件〕

イ ミーティング・インセンティブツアー開催支援

市内宿泊を伴うミーティング・インセンティブツアーに対して、費用の助成を行ったほか、来福時の物的支援、レセプションでの伝統芸能等の提供を実施した。

[助成金交付件数：16件、物的支援：84件、伝統芸能等の提供：9件]

ウ 見本市等開催支援

市内初開催及び施設の使用面積を拡張して開催する見本市等に対して、費用の助成を行った。[交付件数：6件]

エ ユニークベニユーの活用促進

博多川に川床を設置する大型会場を開拓したほか、文化財を活用した住吉神社能楽殿でのレセプション、警固神社境内での実証事業を実施した。

③ MICE人材育成事業

MICEの認知度向上と次世代人材の育成を図るため、大学生等を対象に、MICEに関する講座や施設の視察、コンベンションや展示会等の運営体験など20プログラムを実施した。[登録者数：151名]

④ 関係機関・団体との連携

MICE関係機関・団体等との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行った。

ア 観光庁・日本政府観光局などMICE関係機関・団体との連携

イ 福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所など地元経済団体との連携

ウ 国際会議協会(ICC A)やインセンティブ旅行協会(SITE)など業界のグローバルな団体等への加盟

(4) 広報・マーケティング

観光・MICEに関するトピックや統計情報の提供など戦略的な情報発信を行った。

① デジタルマーケティング推進

ア Google 検索やGoogle マップで利用者の言語に合わせて店舗が表示される「Google ビジネスプロフィール」の導入等支援 [支援事業者数：102件]

イ 観光データの収集、旅行者へのアンケート調査

ウ 入国者の推移、国別の傾向など観光データをまとめたレポートの発信

エ 観光データを基にした観光客の動向などのセミナー

② 広報活動

ア SNSを活用した情報発信

イ メディア取材対応

ウ 財団ホームページによる情報発信

エ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年2回、各2,500部〕

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、賛助会員の確保を図った。

① 市民や観光関連事業者等の理解促進

ア 市民を対象にした観光地域づくりフォーラム

イ 賛助会員と共に地域課題等について議論・検討するパートナーズ・ワーキング・グループを開催

② 賛助会員交流会の開催〔参加者数：161名〕

③ 賛助会員サービスの提供

ア コンベンションスケジュール及びマーケティングデータの提供

イ メールマガジンの配信〔財団主催イベントや市の施策等の情報提供など〕

ウ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

(6) 会議

① 理事会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和6年度 第1回理事会	令和6年4月1日 ※決議の省略	専務理事の選定
令和6年度 第2回理事会	令和6年5月1日 ※決議の省略	理事の推薦 評議員会の開催
令和6年度 第3回理事会	令和6年6月5日	令和5年度事業報告及び決算報告 理事の推薦 評議員の推薦 評議員会の開催 事業報告等に係る定期提出書類
令和6年度 第4回理事会	令和7年3月28日	令和7年度事業計画案及び収支予算案 特定費用準備資金取扱規程の制定 役員推薦 評議員会の開催

② 評議員会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和6年度 第1回評議員会	令和6年4月1日 ※決議の省略	理事および監事の選任
令和6年度 第2回評議員会	令和6年6月27日	令和5年度事業報告及び決算報告 理事の選任 評議員の選任

※上記①、②の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。事業計画や予算・決算など重要事項については、会議開催により決議している。

2 貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	251,195,460	171,607,645	79,587,815
定期預金	6,036	0	6,036
未収金	9,837,252	6,277,155	3,560,097
前払金	123,000	188,000	△ 65,000
商品	1,634,460	1,583,819	50,641
貯蔵品	395,210	219,840	175,370
立替金	15,880	0	15,880
流動資産合計	263,207,298	179,876,459	83,330,839
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	29,618,602	29,618,602	0
普通預金	738,112	736,742	1,370
投資有価証券	765,643,286	765,644,656	△ 1,370
基本財産合計	796,000,000	796,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	7,343,610	7,033,160	310,450
ソフトウェア	1,051,875	1,860,375	△ 808,500
観光・MICE振興事業準備資金	11,400,000	0	11,400,000
人件費等準備資金	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	24,795,485	8,893,535	15,901,950
(3)その他固定資産			
建物附属設備	339,214	442,593	△ 103,379
什器備品	1,212,583	1,814,533	△ 601,950
ソフトウェア	0	324,282	△ 324,282
電話加入権	907,603	907,603	0
預託金	3,000,000	3,000,000	0
その他固定資産合計	5,459,400	6,489,011	△ 1,029,611
固定資産合計	826,254,885	811,382,546	14,872,339
資産合計	1,089,462,183	991,259,005	98,203,178
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	224,702,764	142,757,993	81,944,771
前受金	0	527,000	△ 527,000
預り金	2,314,003	2,503,507	△ 189,504
賞与引当金	9,557,792	2,678,195	6,879,597
流動負債合計	236,574,559	148,466,695	88,107,864
2 固定負債			
退職給付引当金	7,343,610	7,033,160	310,450
固定負債合計	7,343,610	7,033,160	310,450
負債合計	243,918,169	155,499,855	88,418,314
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
負担金	1,051,875	1,860,375	△ 808,500
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
指定正味財産合計	797,051,875	797,860,375	△ 808,500
(うち基本財産への充当額)	(796,000,000)	(796,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,051,875)	(1,860,375)	(△ 808,500)
2 一般正味財産	48,492,139	37,898,775	10,593,364
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	845,544,014	835,759,150	9,784,864
負債及び正味財産合計	1,089,462,183	991,259,005	98,203,178

3 正味財産増減計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

(1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,473,880	7,471,759	2,121
② 受取会費			
受取賛助会員会費	38,165,000	37,255,000	910,000
③ 事業収益			
広告料収益	5,759,067	5,685,922	73,145
事業収益	35,134,735	891,500	34,243,235
販売収益	6,562,327	5,012,200	1,550,127
④ 受取負担金			
市人件費負担金	61,884,431	63,037,721	△ 1,153,290
市事業費負担金	435,652,592	317,131,441	118,521,151
市事業費負担金振替額	808,500	808,500	0
参加者負担等負担金	4,084,900	2,270,200	1,814,700
事業協力負担金	1,100,000	5,194,200	△ 4,094,200
⑤ 受託事業収益			
受託事業収益	500,000	500,000	0
⑥ 雑収益			
受取利息	44,828	521	44,307
雑収益	2,800,474	286,510	2,513,964
経常収益計	599,970,734	445,545,474	154,425,260
(2) 経常費用			
① 事業費	588,153,050	440,648,294	147,504,756
役員報酬	0	0	0
給料手当	93,578,454	92,152,041	1,426,413
臨時雇賃金	4,608,205	5,240,680	△ 632,475
退職給付費用	304,241	235,268	68,973
福利厚生費	23,748,759	22,215,449	1,533,310
広告宣伝費	1,236,744	201,594	1,035,150
会議費	4,539,330	4,954,840	△ 415,510
旅費交通費	15,054,004	11,258,844	3,795,160
通信搬送費	3,135,569	3,530,190	△ 394,621
什器備品費	137,426	694,540	△ 557,114
減価償却費	1,832,146	1,815,103	17,043
建物附属設備減価償却費	102,345	102,345	0
什器備品減価償却費	599,062	552,727	46,335
ソフトウェア減価償却費	1,130,739	1,160,031	△ 29,292
消耗品費	2,976,935	3,426,121	△ 449,186
修繕費	33,440	20,900	12,540
印刷製本費	6,765,077	6,942,598	△ 177,521
光熱水費	878,926	888,903	△ 9,977
賃借料	12,149,335	11,634,024	515,311
会費	2,558,851	1,543,281	1,015,570
諸謝金	5,834,735	2,689,699	3,145,036
記念品費	11,001,283	1,544,561	9,456,722
支払負担金	116,473,815	78,795,057	37,678,758
手数料	14,646,445	1,799,067	12,847,378
委託費	253,778,659	184,816,594	68,962,065
租税公課	2,802,550	750,301	2,052,249
保険料	372,090	334,300	37,790
賞与引当金繰入額	9,389,758	2,591,887	6,797,871
雑費	316,273	572,452	△ 256,179

② 管 理 費	1, 224, 320	1, 120, 875	103, 445
員 報 酬	0	0	0
給 料 手 当	479, 509	467, 425	12, 084
退 職 給 付 費 用	6, 209	4, 802	1, 407
福 利 厚 生 費	315, 275	329, 036	△ 13, 761
会 議 費	2, 904	4, 072	△ 1, 168
旅 費 交 通 費	12, 589	16, 430	△ 3, 841
通 信 運 搬 費	11, 413	8, 582	2, 831
什 器 備 品 費	723	0	723
減 価 償 却 費	5, 965	6, 119	△ 154
建 物 附 属 設 備 減 価 償 却 費	1, 034	1, 034	0
什 器 備 品 減 価 償 却 費	2, 888	2, 856	32
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2, 043	2, 229	△ 186
消 耗 品 費	5, 302	5, 001	301
修 繕 費	0	0	0
印 刷 製 本 費	30, 975	25, 249	5, 726
光 熱 水 費	8, 744	8, 979	△ 235
賃 借 場 料 費	103, 356	103, 163	193
会 諸 謝 金	75	165	△ 90
支 払 負 担 金	616	550	66
手 委 託 費	17, 819	17, 963	△ 144
租 税 公 課	6, 623	3, 097	3, 526
賞 与 引 当 金 繰 入 額	21, 960	26, 559	△ 4, 599
雜 費	25, 986	5, 935	20, 051
	168, 034	86, 308	81, 726
	243	1, 440	△ 1, 197
經 常 費 用 計 額	589, 377, 370	441, 769, 169	147, 608, 201
当 期 經 常 増 減 額	10, 593, 364	3, 776, 305	6, 817, 059
2 經 常 外 増 減 の 部			
(1) 經 常 外 収 益			
經 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 經 常 外 費 用			
經 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 經 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	10, 593, 364	3, 776, 305	6, 817, 059
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	37, 898, 775	34, 122, 470	3, 776, 305
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	48, 492, 139	37, 898, 775	10, 593, 364
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 負 担 金	0	0	0
市 事 業 費 負 担 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808, 500	△ 808, 500	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808, 500	△ 808, 500	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 808, 500	△ 808, 500	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	797, 860, 375	798, 668, 875	△ 808, 500
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	797, 051, 875	797, 860, 375	△ 808, 500
III 正 味 財 産 期 末 残 高	845, 544, 014	835, 759, 150	9, 784, 864

(2) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	3,736,940	3,736,940	0	0	7,473,880
基本財産受取利息	3,736,940	3,736,940	0	0	7,473,880
② 受取会費	34,348,500	0	3,816,500	0	38,165,000
受取賛助会員会費	34,348,500	0	3,816,500	0	38,165,000
③ 事業収益	47,456,129	0	0	0	47,456,129
広告料収益	5,759,067	0	0	0	5,759,067
事業収益	35,134,735	0	0	0	35,134,735
販売収益	6,562,327	0	0	0	6,562,327
④ 受取負担金	502,319,144	1,128,845	82,434	0	503,530,423
市人件費負担金	61,183,152	618,845	82,434	0	61,884,431
市事業費負担金	435,652,592	0	0	0	435,652,592
市事業費負担金振替額	808,500	0	0	0	808,500
参加者負担等負担金	3,574,900	510,000	0	0	4,084,900
事業協力負担金	1,100,000	0	0	0	1,100,000
⑤ 受託事業収益	500,000	0	0	0	500,000
受託事業収益	500,000	0	0	0	500,000
⑥ 雑収益	2,800,474	0	44,828	0	2,845,302
受取利息	0	0	44,828	0	44,828
雑収益	2,800,474	0	0	0	2,800,474
経常収益計	591,161,187	4,865,785	3,943,762	0	599,970,734
(2) 経常費用					
① 事業費	583,855,327	4,297,723	0	0	588,153,050
給料手当	92,698,927	879,527	0	0	93,578,454
臨時雇賃金	4,608,205	0	0	0	4,608,205
退職給付費用	279,405	24,836	0	0	304,241
福利厚生費	23,363,813	384,946	0	0	23,748,759
広告宣伝費	1,236,744	0	0	0	1,236,744
会議費	2,432,821	2,106,509	0	0	4,539,330
旅費交通費	15,031,941	22,063	0	0	15,054,004
通信運搬費	3,019,879	115,690	0	0	3,135,569
什器備品費	136,702	724	0	0	137,426
減価償却費	1,817,812	14,334	0	0	1,832,146
建物付属設備減価償却費	100,278	2,067	0	0	102,345
什器備品減価償却費	593,281	5,781	0	0	599,062
ソフトウェア減価償却費	1,124,253	6,486	0	0	1,130,739
消耗品費	2,954,141	22,794	0	0	2,976,935
修繕費	33,440	0	0	0	33,440
印刷製本費	6,734,101	30,976	0	0	6,765,077
光熱水費	870,181	8,745	0	0	878,926
賃借料	12,045,979	103,356	0	0	12,149,335
会場費	2,558,776	75	0	0	2,558,851
諸謝金	5,730,119	104,616	0	0	5,834,735
記念品費	11,001,283	0	0	0	11,001,283
支払負担金	116,455,995	17,820	0	0	116,473,815
手数料	14,639,822	6,623	0	0	14,646,445
委託費	253,756,698	21,961	0	0	253,778,659
租税公課	2,776,565	25,985	0	0	2,802,550
保険料	372,090	0	0	0	372,090
賞与引当金繰入額	8,983,857	405,901	0	0	9,389,758
雑費	316,031	242	0	0	316,273

② 管 理 費	0	0	1,224,320	0	1,224,320
給 料 手 当	0	0	479,509	0	479,509
退 職 給 付 費 用	0	0	6,209	0	6,209
福 利 厚 生 費	0	0	315,275	0	315,275
会 議 費	0	0	2,904	0	2,904
旅 費 交 通 費	0	0	12,589	0	12,589
通 信 運 搬 費	0	0	11,413	0	11,413
什 器 備 品 費	0	0	723	0	723
減 価 償 却 費	0	0	5,965	0	5,965
建物付属設備減価償却費	0	0	1,034	0	1,034
什器備品減価償却費	0	0	2,888	0	2,888
ソフトウェア減価償却費	0	0	2,043	0	2,043
消 耗 品 費	0	0	5,302	0	5,302
印 刷 製 本 費	0	0	30,975	0	30,975
光 熱 水 費	0	0	8,744	0	8,744
賃 借 料	0	0	103,356	0	103,356
会 場 費	0	0	75	0	75
諸 謝 金	0	0	616	0	616
支 払 負 担 金	0	0	17,819	0	17,819
手 数 料	0	0	6,623	0	6,623
委 託 費	0	0	21,960	0	21,960
租 税 公 課	0	0	25,986	0	25,986
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	168,034	0	168,034
雑 費	0	0	243	0	243
経 常 費 用 計	583,855,327	4,297,723	1,224,320	0	589,377,370
当 期 経 常 増 減 額	7,305,860	568,062	2,719,442	0	10,593,364
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	7,305,860	568,062	2,719,442	0	10,593,364
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	19,066,786	△ 19,014,370	37,846,359	0	37,898,775
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	26,372,646	△ 18,446,308	40,565,801	0	48,492,139
II 指定正味財産増減の部					
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	399,860,375	0	398,000,000	—	797,860,375
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	399,051,875	0	398,000,000	—	797,051,875
III 正味財産期末残高	425,424,521	△ 18,446,308	438,565,801	—	845,544,014

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。
- ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- ③ 固定資産の減価償却の方法
定額法を採用している。
- ④ 引当金の計上基準
ア 退職給付引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
イ 賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。
- ⑤ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

- (2) 基本財産及び特定資産の増減及びその残高
基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	29,618,602	0	0	29,618,602
普通預金	736,742	1,370	0	738,112
投資有価証券	765,644,656	0	1,370	765,643,286
小 計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,033,160	310,450	0	7,343,610
ソフトウェア	1,860,375	0	808,500	1,051,875
観光・MICE振興事業 準備資金	0	11,400,000		11,400,000
人件費等準備資金	0	5,000,000		5,000,000
小 計	8,893,535	16,710,450	808,500	24,795,485
合 計	804,893,535	16,711,820	809,870	820,795,485

- (3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	29,618,602	(29,618,602)	(0)	(-)
普通預金	738,112	(738,112)	(0)	(-)
投資有価証券	765,643,286	(765,643,286)	(0)	(-)
小 計	796,000,000	(796,000,000)	(0)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	7,343,610	(0)	(0)	(7,343,610)
ソフトウェア	1,051,875	(1,051,875)	(0)	(-)
観光・MICE振興事業 準備資金	11,400,000	(0)	(11,400,000)	(-)
人件費等準備資金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(-)
小 計	24,795,485	(1,051,875)	(16,400,000)	(7,343,610)
合 計	820,795,485	(797,051,875)	(16,400,000)	(7,343,610)

- (4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,033,796	694,582	339,214
什器備品	5,118,711	3,906,128	1,212,583
ソフトウェア(特定)	4,042,500	2,990,625	1,051,875
ソフトウェア(その他固定)	1,768,800	1,768,800	0
電話加入権	907,603	0	907,603
合 計	12,871,410	9,360,135	3,511,275

- (5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	参考			
				額 面	利率 (%)	受取利息	期間(年)
兵庫県平成23年度第1回公債	199,994,666	202,100,000	2,105,334	200,000,000	1.660%	3,320,000	15
兵庫県平成25年度第3回公債	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0.560%	560,000	12
第137回福岡北九州高速道路公社債	100,000,000	95,150,000	△ 4,850,000	100,000,000	1.241%	1,241,000	20
第151回利付国債	75,759,500	73,665,350	△ 2,094,150	75,500,000	1.200%	906,000	20
第158回利付国債	139,889,120	123,326,000	△ 16,563,120	140,000,000	0.500%	700,000	20
第154回福岡北九州高速道路公社債	150,000,000	120,465,000	△ 29,535,000	150,000,000	0.497%	745,500	20
合 計	765,643,286	714,706,350	△ 50,936,936	765,500,000		7,472,500	

- (6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取負担金						
受 取 負 担 金	福岡市	1,860,375	497,632,993	498,441,493	1,051,875	指定正味財産
合 計		1,860,375	497,632,993	498,441,493	1,051,875	

- (7) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	7,473,880
減価償却費計上による振替額	808,500
合 計	8,282,380

5 附属明細書

- (1) 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期帳簿価額
基本財産	定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
	普 通 預 金	736,742	1,370	0	738,112
	投 資 有 価 証 券	765,644,656	0	1,370	765,643,286
	基本財産計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産	退職給付引当資産	7,033,160	310,450	0	7,343,610
	ソフトウェア	1,860,375	0	808,500	1,051,875
	観光・MICE振興事業 準備資金	0	11,400,000	0	11,400,000
	人件費等準備資金	0	5,000,000	0	5,000,000
	特定資産計	8,893,535	16,710,450	808,500	24,795,485

- (2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,033,160	310,450		0	7,343,610
賞 与 引 当 金	2,678,195	9,557,792	2,678,195	0	9,557,792

6 財産目録（令和7年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
現金預金	普通預金	西日本シティ銀行天神支店(2296738)	運転資金	158,147,728
		福岡銀行福岡市市内支店(1002482)	運転資金	83,518,461
		ゆうちょ銀行(01740-4-165518)	運転資金	8,795,885
		福岡中央銀行本店営業部(1017112)	運転資金	733,386
	定期預金	西日本シティ銀行天神支店(3049482)	退職金の財源	6,036
		未収金	広告料等	公益目的事業、管理業務
	商品	コンベンションバッグ・御城印	公益目的事業	1,634,460
	貯蔵品	切手・収入印紙	管理業務	395,210
前払金	ボランティア活動保険	公益目的事業	123,000	
立替金	日本観光ショーケース出展料	公益目的事業	15,880	
流動資産合計				263,207,298
（固定資産）				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店(3101569)	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	6,420,178
		福岡銀行福岡市市内支店(0011036)	〃	13,198,424
		福岡中央銀行本店営業部(1036180)	〃	10,000,000
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店(2596746)	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	738,112
		投資有価証券	兵庫県平成23年度第1回15年公債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。
	兵庫県平成25年度第3回12年公債		〃	100,000,000
	第137回福岡北九州高速道路公社債		〃	100,000,000
	第151回利付国債		〃	75,759,500
	第158回利付国債		〃	139,889,120
	特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店(3049482)	退職金の財源
ソフトウェア MICEアプリケーション等			公益目的事業	1,051,875
観光・MICE振興事業準備資金		西日本シティ銀行天神支店(2296738)	将来の観光・MICE振興事業(新規・拡充)の準備資金	11,400,000
人件費等準備資金	西日本シティ銀行天神支店(2296738)	将来の人件費・賃借料の増加に充てるための準備資金	5,000,000	
その他 固定資産	建物附属設備	LAN配線移設工事	共用財産（事務所内工事代）	339,214
		什器備品	共用財産（事務所内備品）	1,212,583
	ソフトウェア	賛助会員管理システム等	共用財産（事務所内備品）	0
	電話加入権	電話加入権 回線	共用財産（事務所用）	907,603
	預託金	福岡法務局・第3種旅行業営業保証金	収益事業	3,000,000
固定資産合計				826,254,885
資産合計				1,089,462,183
（流動負債）				
未払金	観光案内所他完了払い金等	公益目的事業、管理業務	224,702,764	
	預り金	社会保険料、雇用保険、源泉所得税	役職員、臨時職員他	2,314,003
	賞与引当金	職員	職員5名	9,557,792
流動負債合計				236,574,559
（固定負債）				
退職給付引当金	職員	職員2名	7,343,610	
固定負債合計				7,343,610
負債合計				243,918,169
正味財産				845,544,014

7 収支計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,473,000	7,473,000	7,473,880	△ 880
受取会費	43,265,000	43,265,000	38,165,000	5,100,000
事業収益	10,469,000	10,469,000	47,456,129	△ 36,987,129
受取負担金	565,920,000	565,920,000	503,530,423	62,389,577
受託事業収益	500,000	500,000	500,000	0
雑収益	153,000	153,000	2,845,302	△ 2,692,302
経常収益計	627,780,000	627,780,000	599,970,734	27,809,266
(2) 経常費用				
事業費	627,709,000	627,709,000	588,153,050	39,555,950
管理費	2,001,000	2,001,000	1,224,320	776,680
経常費用計	629,710,000	629,710,000	589,377,370	40,332,630
当期経常増減額	△ 1,930,000	△ 1,930,000	10,593,364	△ 12,523,364
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,930,000	△ 1,930,000	10,593,364	△ 12,523,364
一般正味財産期首残高	32,302,000	32,302,000	37,898,775	△ 5,596,775
一般正味財産期末残高	30,372,000	30,372,000	48,492,139	△ 18,120,139
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	7,473,000	7,473,000	7,473,880	△ 880
受取負担金	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 8,281,000	△ 8,281,000	△ 8,282,380	1,380
当期指定正味財産増減額	△ 808,000	△ 808,000	△ 808,500	500
指定正味財産期首残高	797,860,000	797,860,000	797,860,375	△ 375
指定正味財産期末残高	797,052,000	797,052,000	797,051,875	125
III 正味財産期末残高	827,424,000	827,424,000	845,544,014	△ 18,120,014

（注） 管理費に計上していた人件費、その他経費のうち、事業の目的のために要する費用については、事業費に計上している。

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 令和7年度事業計画

1 事業計画

令和7年度は、令和5年度から3年間かけて取り組む「観光・MICE推進プログラム」の最終年度にあたり、その間、「ザ・リッツ・カールトン福岡」の開業やインバウンドの増加など、福岡市を取り巻く環境は大きく変化している。

観光振興においては、博多旧市街や福岡城・鴻臚館などにおいて、福岡の長い歴史や豊かな伝統文化を伝える仕組みを強化し観光交流を推進するとともに、インバウンドの受入体制の構築や、宿泊事業者の人材確保等の課題に積極的に取り組んでいく。

また、MICEについては、国際会議の開催地として選ばれるため、都市の魅力向上や多様化するニーズに合わせた支援を行うことにより、グローバルMICE都市としての地位を高めていく。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、関係団体等と連携した受入環境の向上に取り組む。

① 地域資源を活かした観光振興

市内各所にある歴史資源や文化財、文化観光施設などの地域資源を活かした観光振興、まち歩き企画・実施、観光情報の発信などを行う。

ア 観光コンテンツの企画・販売

イ 観光資源を活かした観光案内・まち歩きの推進強化

- ・世界中のプロの観光ガイドが集まる「世界観光ガイド連盟会議」（令和8年2月開催）に合わせた、多言語対応ができる「おもてなしサポーター」によるまち歩きの企画・実施

ウ エリア観光の充実

- ・「ユニバーサルツーリズム（すべての人が安心して楽しめる旅行）」に対応したまち歩きの企画・実施

エ 観光情報の発信

- ・観光情報サイト「よかなび」での市内イベント情報の発信
- ・エリア特性やターゲットを踏まえた福岡市の魅力を海外向けに発信するための観光グローバルサイトの運用

② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」・「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行う。

③ 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡

商工会議所との共催により、福岡検定を実施する。

④ 受入環境の向上

観光案内所（天神・博多駅）の運営など国内外からの来訪者が快適に過ごすことができるよう受入環境の向上に取り組む。

(2) 観光客の誘致

関係団体・機関と連携し、国内外から観光客の誘致を促進する。

① 観光関連産業の連携強化

イベントや国際会議の時期に合わせ、地域の小売事業者や飲食店等と連携しインバウンドの受入体制づくりを行うことにより、事業者同士のネットワーク構築及びインバウンド消費の拡大を図る。

② 宿泊事業者の人材確保等支援事業

宿泊事業者等の人材確保・育成に向けた支援を実施する。

③ 広域連携誘客事業

ア 国内向けプロモーション

「ツーリズムEXPOジャパン2025」への出展を行う。

イ 海外向けプロモーション

「旅行博ITF（台湾）」及び「旅行博ITF（タイ）」への出展を行う。

④ 修学旅行による都市圏周遊の推進

市内に宿泊する修学旅行のバス代支援や、体験学習プログラムへの参加費支援等に取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進する。

⑤ 福岡型ワーケーション推進事業

福岡市の魅力であるビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」を推進し、滞在長期化・リピーター化を図る。

ア ワケーション専用サイトの運営

イ 企業向けワーケーションプログラムのプロモーション

ウ ワケーションの受入れを支援するパートナー企業交流会の実施

(3) MICEの誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネーターまで、ワンストップで実施する。

外国人参加者が多く見込め、都市の知名度認知向上に資するコンベンション、経済波及効果が高い企業主催のミーティング・インセンティブツアー、また、市内企業のビジネス機会の創出につながる展示会・見本市の誘致・支援を強化していく。

① M I C E誘致等

ア コンベンション誘致強化

都市の知名度向上につながるコンベンションや、市民にも分かりやすいなど福岡らしいシンボリックな国際会議の誘致に取り組む。

特に、地元で開催される国際会議の誘致主体となる大学教授などとの連携を強化する。

イ ミーティング、インセンティブツアー誘致強化

海外商談会などで構築された旅行会社等とのネットワークを通じて、新たな案件獲得に取り組む。

ウ 展示会・見本市誘致強化

商談会への出展や、首都圏及び関西圏、中部圏への集中営業を行う。

また、主催者を対象に、福岡開催の可能性や開催にかかる課題等の調査を実施し、新規開催案件を開拓する。

② M I C E開催支援

ア コンベンション開催支援

大型国内会議・大会や外国人が多く参加する国際会議に対して、費用を助成する。

また、「世界観光ガイド連盟総会」を福岡の魅力でPRする機会と捉え、開催効果拡大に向けて取り組む。

イ ミーティング・インセンティブツアー開催支援

海外の企業ミーティング及びインセンティブツアーに対して、費用助成や文化体験を提供する。

ウ 見本市等開催支援

市内初開催及び施設の使用面積を拡張して開催する見本市等に対して、会場使用料の一部を助成する。

エ ユニークベニュー活用支援

ユニークベニューの活用を促進するため、会場設置費用等を助成する。

③ M I C E人材育成

将来のM I C E業界を担う人材の育成を図るため、大学生等を対象にM I C Eの基礎を学ぶ講義や現場の運営体験等を実施する。

④ 関係機関・団体との連携

M I C E誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

ア 観光庁、日本政府観光局などM I C E関係機関・団体との連携

イ 福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所など地元経済団体との連携

ウ 国際会議協会(I C C A)やインセンティブ旅行協会(S I T E)など業界のグローバルな団体等への加盟

(4) 広報・マーケティング

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・MICEに関するトピックなどを提供する。

① デジタルマーケティング推進

ア 観光関連事業者のデジタル対応支援

「Googleビジネスプロフィール」の活用や集客に向けた情報発信を支援する。

イ 観光データの収集・分析・活用

来訪者の周遊行動を把握するために、携帯電話の位置情報データの活用や国内外の観光客へのアンケート調査、クレジットカードの決済情報による消費傾向分析を行い、観光関連事業者へ情報共有を行う。

② 広報活動

ア SNSを活用した情報発信

イ メディア取材対応

ウ 財団ホームページによる情報発信

エ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、新たな会員獲得に向けた取組みを行う。

① 市民や観光関連事業者等の理解促進

市民や観光関連事業者などを対象に、観光・MICEの意義や重要性、地域の課題等についての理解促進に向けたセミナー等を開催する。

② 賛助会員交流会の開催

賛助会員間の交流促進のため、PRブースの設置等を行う。

③ 賛助会員サービスの提供

ア コンベンションスケジュール及びマーケティングデータの提供

イ メールマガジンの配信

ウ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

2 収支予算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,913	7,473	440
受取会費	40,000	43,265	△ 3,265
事業収益	10,694	10,469	225
受取負担金	636,723	565,920	70,803
受託事業収益	500	500	0
雑収益	153	153	0
経常収益計	695,983	627,780	68,203
(2) 経常費用			
事業費	698,323	627,709	70,614
・福岡の魅力づくり	106,613	103,633	2,980
・観光客誘致・受入	150,984	123,684	27,300
・MICE誘致・支援	235,283	229,267	6,016
・情報発信・広報	87,407	58,792	28,615
・賛助会員・組織運営	4,587	14,456	△ 9,869
・給与費等	113,449	97,877	15,572
管理費	2,117	2,001	116
経常費用計	700,440	629,710	70,730
当期経常増減額	△ 4,457	△ 1,930	△ 2,527
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,457	△ 1,930	△ 2,527
一般正味財産期首残高	35,968	32,302	3,666
一般正味財産期末残高	31,511	30,372	1,139
II 指定正味財産増減の部			
投資有価証券受取利息	7,913	7,473	440
一般正味財産への振替額	△ 8,721	△ 8,281	△ 440
当期指定正味財産増減額	△ 808	△ 808	0
指定正味財産期首残高	797,052	797,860	△ 808
指定正味財産期末残高	796,244	797,052	△ 808
III 正味財産期末残高	827,755	827,424	331

(2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	内 訳 表				合 計
	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	3,957	3,956	0	0	7,913
受取会費	36,000	0	4,000	0	40,000
事業収益	9,694	1,000	0	0	10,694
受取負担金	625,937	5,956	4,830	0	636,723
受託事業収益	500	0	0	0	500
雑収益	0	0	153	0	153
経常収益計	676,088	10,912	8,983	0	695,983
(2) 経常費用					
事業費	689,817	8,506	0	0	698,323
・福岡の魅力づくり	106,613	0	0	0	106,613
・観光客誘致・受入	150,984	0	0	0	150,984
・MICE誘致・支援	235,283	0	0	0	235,283
・情報発信・広報	87,407	0	0	0	87,407
・賛助会員・組織運営	908	3,679	0	0	4,587
・給与費等	108,622	4,827	0	0	113,449
管理費	0	0	2,117	0	2,117
経常費用計	689,817	8,506	2,117	0	700,440
当期経常増減額	△ 13,729	2,406	6,866	0	△ 4,457
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	980	△ 980	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,749	1,426	6,866	0	△ 4,457
一般正味財産期首残高					35,968
一般正味財産期末残高					31,511
II 指定正味財産増減の部					
投資有価証券受取利息	3,957	3,956	0	0	7,913
一般正味財産への振替額	△ 4,765	△ 3,956	0	0	△ 8,721
当期指定正味財産増減額	△ 808	0	0	0	△ 808
指定正味財産期首残高					797,052
指定正味財産期末残高					796,244
III 正味財産期末残高					827,755